

お知らせ

〔 資料提供先 〕 島根県政記者会、広島県政記者クラブ、合同庁舎記者クラブ、中国地方建設記者クラブ、三原新聞記者クラブ、尾道市記者クラブ、福山市政記者クラブ、府中市役所記者クラブ、三次市記者クラブ



国土を**整**え、全力で**備**える
中国地方整備局
松江国道事務所
Matsue National Highway office
福山河川国道事務所
Fukuyama office of River and National Highway
三次河川国道事務所
Miyoshi office of River and National Highway

平成28年 4月28日

— 記者発表資料 —

平成27年3月22日（日）に中国横断自動車道尾道松江線が全線開通しました。このたび、全線開通1年後の道路整備効果を検証しましたので、お知らせします。

～山陰と山陽 つながりがもたらす 地域の発展～

<開通による主な効果>

効果1 産業振興

- 開通後一年間で沿線の企業進出が促進され、**新たな企業団地（神原企業団地 約3ha）の整備が進行**
- 島根県東部と山陽の企業の**新たな取引が発生**し、総取引数が増加【島根県東部と広島県との総取引数が平成21年の**約1.3倍増加**】
- 境港で早朝水揚げされた新鮮な魚介類が午前中に山陽で販売可能に

効果2 住民生活

- 地域住民の**約4割の方が**観光や商業活動の活性化を実感

効果3 地域活性化

- 同時に整備された沿線「道の駅」の来場者数が平成26年度の**約1.6倍**、売上高が**約1.5倍に増加**し、地域が活性化

【問い合わせ先】（◎：窓口）

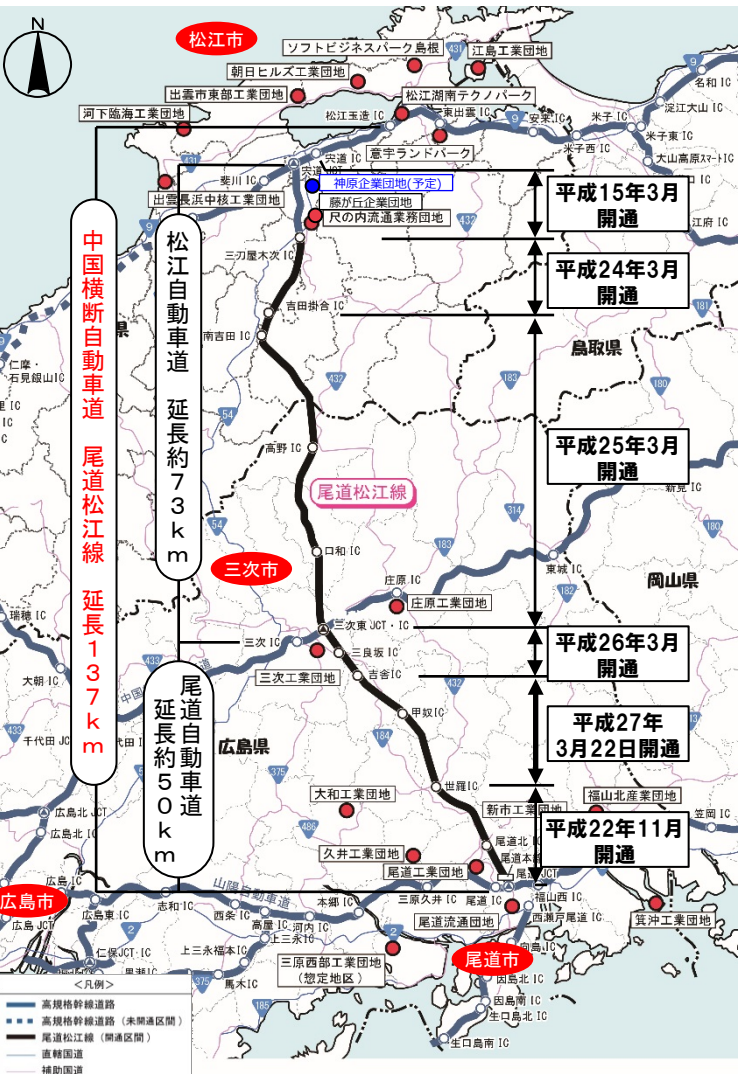
- 国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所
副所長（道路担当） たかくち としひろ 高口 敏弘 【担当】計画課長 たかざき おさむ 高崎 修
〒690-0017 島根県松江市西津田2丁目6番28号 TEL：(0852) 26-2131 FAX：(0852) 25-9438
- 国土交通省 中国地方整備局 福山河川国道事務所
副所長（道路担当） きしべ あきかず 岸部 明和 【担当】調査設計第二課長 おかもと しんじ 岡本 慎二
〒720-0031 広島県福山市三吉町4丁目4番13号 TEL：(084) 923-2510 FAX：(084) 923-2517
- ◎ 国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所
副所長（道路担当） さだとう としふみ 貞任 俊典 【担当】調査設計課長 すなほり まつお 砂堀 松男
〒728-0011 広島県三次市十日市西六丁目2番1号 TEL：(0824)63-4121 FAX：(0824)64-2240

1. 整備効果（産業振興①）

～企業進出の活発化・新たな雇用を創出～

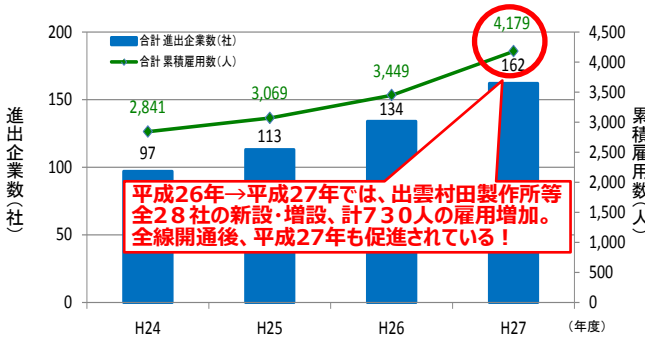
・尾道松江線全線開通後1年間で沿線の企業進出が促進され、**新たな企業団地（神原企業団地約3ha）の整備が進んでいます。**

▼工業団地位置図



高速道路の開通を見越し企業が多数進出

▼沿線の企業進出・雇用者数の変化状況



平成26年→平成27年では、出雲村田製作所等全28社の新設・増設、計730人の雇用増加。全線開通後、平成27年も促進されている！

沿線：尾道市（一定規模（投下資本5千万以上の工場等）の新設・増設数、三次工業団地の新設数、島根県東部（松江市、出雲市、安来市、雲南市、奥出雲町、飯南町H28.2時点）の新設・増設数
資料：H28.4尾道市・三次市より提供、島根県HPより

沿線自治体の声

・山陽側の企業から、企業団地の視察や問い合わせがありました。また、**尾道松江線の全線開通による効果を活かした新たな企業団地（約3ha）の整備を推進しています。**
（雲南市 産業推進課）

企業立地が進み、新たな企業団地を整備



1. 整備効果（産業振興②）

～地域産業の交流が活発化し、地域経済の発展に貢献～

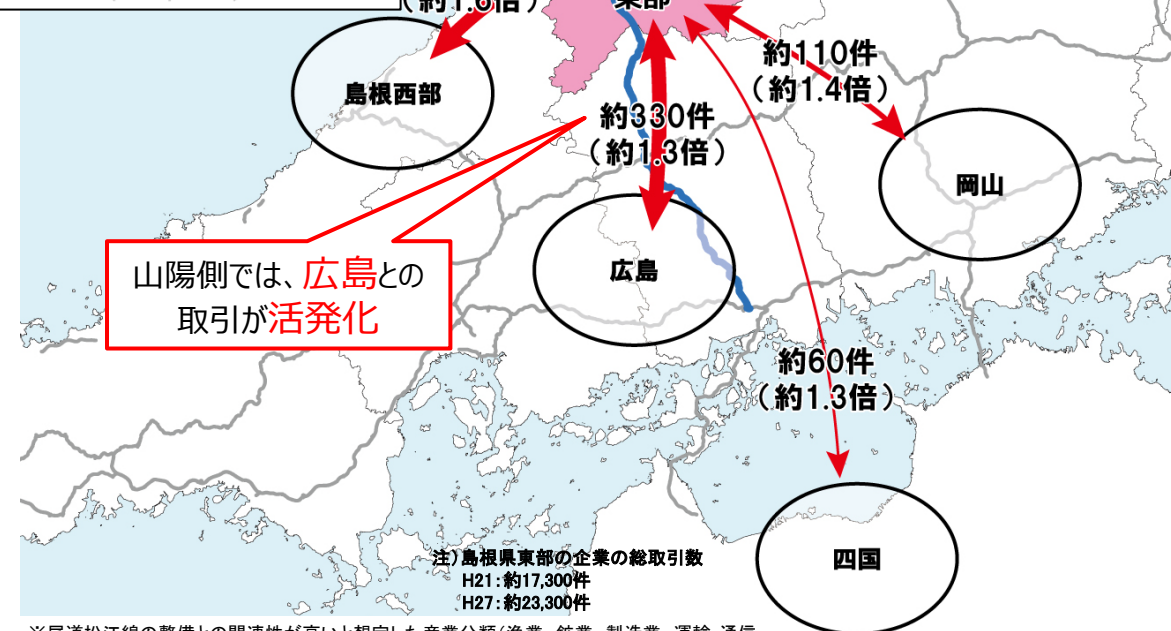
- 尾道松江線の開通により、地域間において**新たな企業取引が発生し、総取引数が増加**するなど、企業活動が活発化しています。
【島根県東部と広島県との総取引数が平成21年の**約1.3倍増加**】
- 心理的、時間的距離が小さくなったことから、**山陰・山陽が連携した企業商談会が多数開催**され、**企業の新たな取引先の開拓に向けた取り組みが進んでいます**。

島根県東部の企業間取引数の変化（H21→H27）

▼島根県東部の企業の【H21にはなくH27に新たに】発生した企業間取引数

【凡例】

件数：新たに発生した企業間取引数

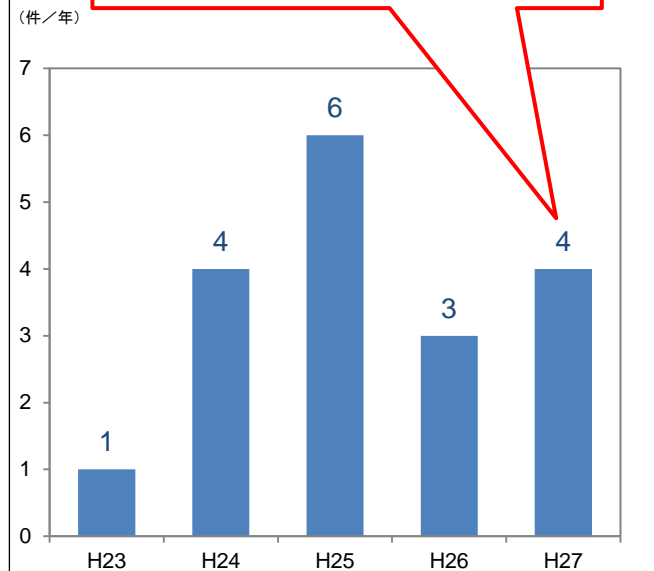
(倍率)：地域間の総取引数の増減率
(H27/H21)

※尾道松江線の整備との関連性が高いと想定した産業分類(漁業、鉱業、製造業、運輸・通信業、卸売・小売業・飲食店、不動産業、サービス業)に属する企業の取引データの集計
※島根県東部(松江市、出雲市、安来市、雲南市、奥出雲町、飯南町)
※(出所)帝国データバンクの企業データ。H21、H27両時点で存在する企業データを集計。
※島根県東部の各市町内での取引は計上していない。

取引先開拓に向けた取り組み

< 尾道松江線沿線 >
主な企業商談会の開催数

今後も引き続き、企業商談会を行っていくこととしている！



資料：実行委員会(松江商工会議所 等)のHPより

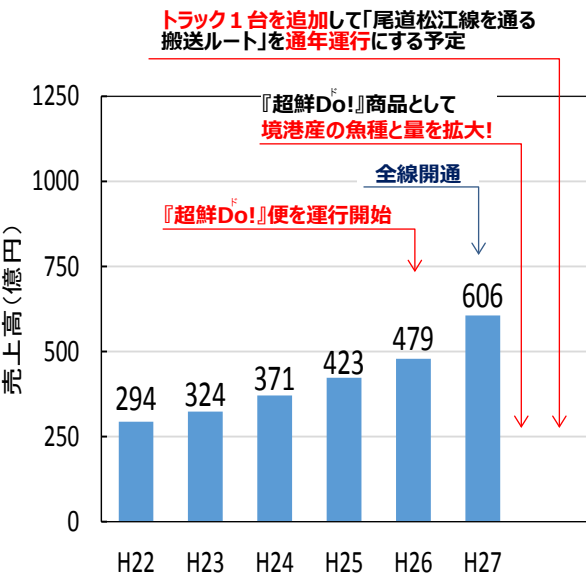
1. 整備効果（産業振興③）

～山陰の新鮮な魚介類の山陽への搬送が迅速化～

・境港は日本海側で有数の漁港です。尾道松江線の全線開通で搬送時間の短縮により、境港で早朝水揚げされた新鮮な魚介類が、午前中には山陽に搬送されるようになり、鮮度落ちが早いベニズワイガニなどのエビ・カニ類や、赤カレイなどの日本海を代表する旬の魚介類が豊富に、山陽で販売可能となりました。



【株式会社 エプリーの売上高の推移】



～株式会社エプリーの概要～

広島・岡山を中心に直営店では4月1日時点で34店舗を展開。専用の『超鮮Do!』便を用いた産地直送により、通常の流通システムよりも短時間で鮮魚等が店頭に並ぶ『超鮮Do!』商品や、鮮度にこだわった店舗の展開を行っている。

【株式会社エプリーの声】

『超鮮Do!』便をはじめとする、鮮度にこだわった取り組みが消費者から支持され、売上向上に寄与しています。

今後、店舗数が増加するなかで、もっと沢山のお客様に圧倒的な鮮度をお届けしたいと考えています。

道路網の整備を追い風に産地でしか並ばなかった商品もさらに提案していきます。

1. 整備効果（住民生活①）

～地域の観光・商業活動が活性化し、住民生活のうらおいに期待～

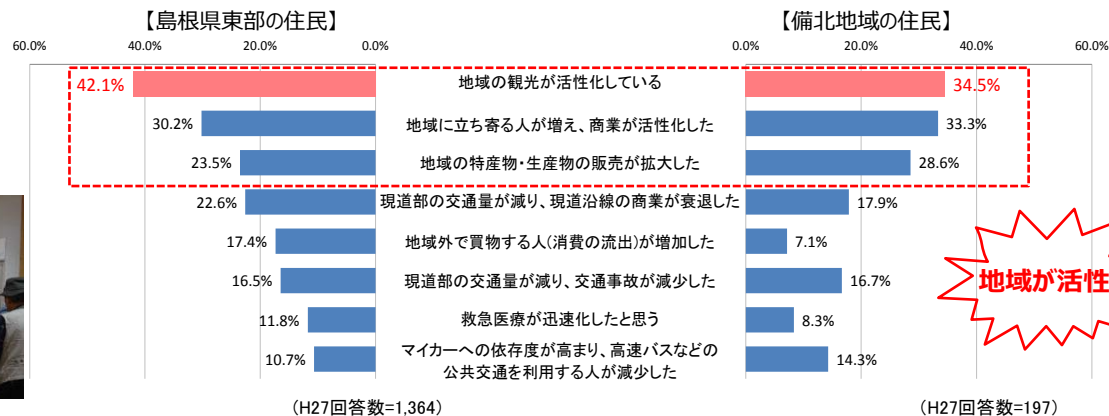
- ・地域住民の約4割の方が観光や商業活動の活性化を実感しています。
- ・主な観光名所では、GWの観光入込客が対前年比で約2割増加した施設も見られました。

全線開通により実感している地域への効果

【にぎわう道の駅】



※島根県東部：松江市、出雲市、雲南市、奥出雲町、飯南町、大田市、安来市、美郷町
 ※H27は松江市、出雲市、雲南市、奥出雲町、飯南町



地域が活性！

主な観光名所の観光入込客数



① 出雲大社

H26(GW期間) 530.0千人
 →H27(GW期間) 540.0千人
10.0千人増(2%増)



② 備北丘陵公園

H26(GW期間) 67.9千人
 →H27(GW期間) 75.1千人
7.2千人(11%増)



③ せらワイナリー

H26(GW期間) 33.4千人
 →H27(GW期間) 35.6千人
2.2千人(7%増)



④ 千光寺山ロープウェイ

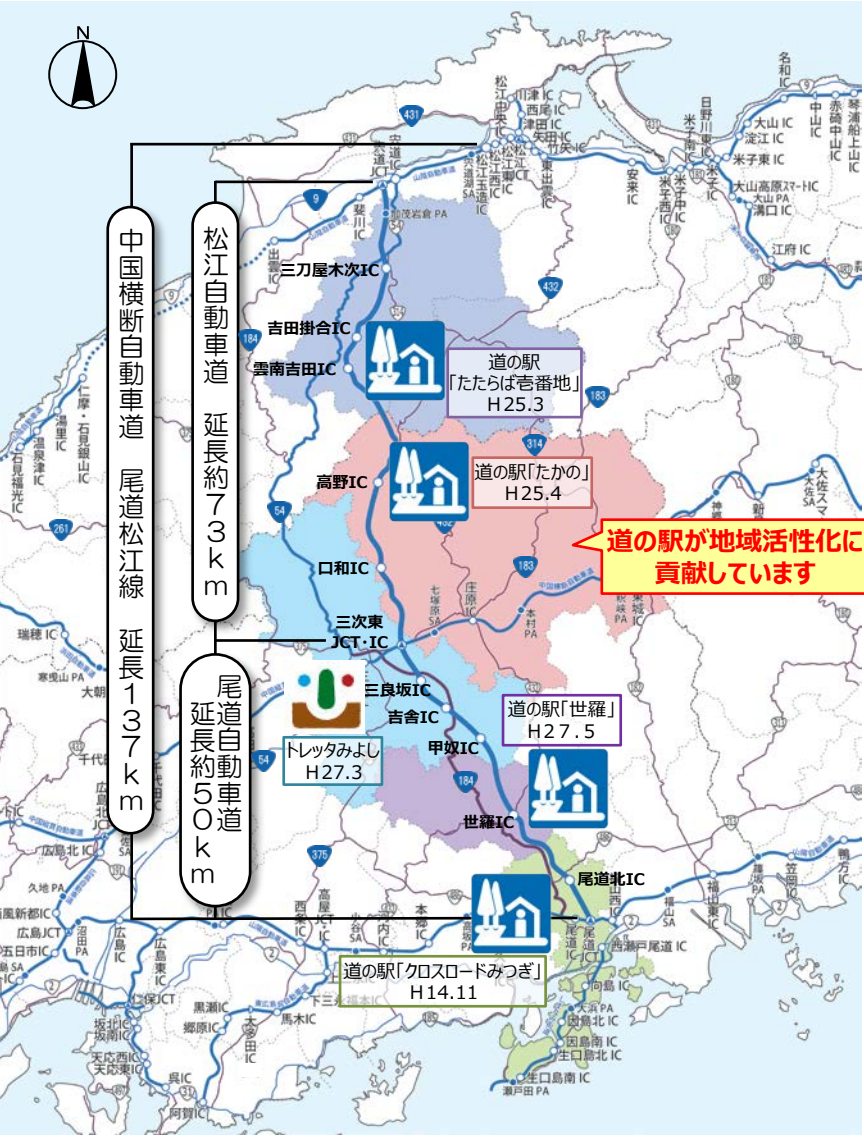
H26(GW期間) 24.0千人
 →H27(GW期間) 29.1千人
5.1千人増(21%増)



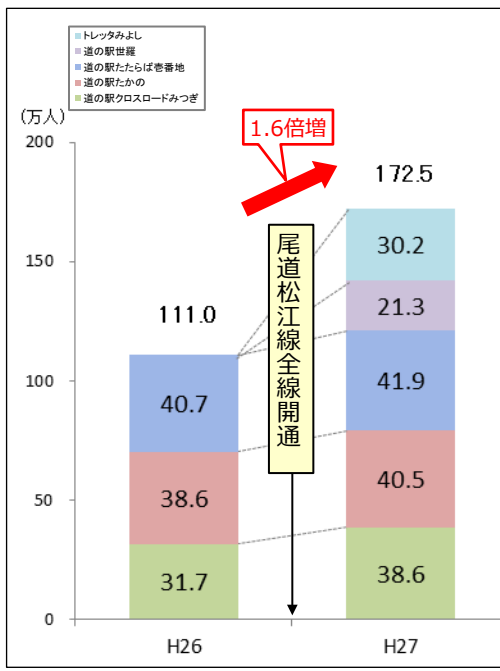
1. 整備効果（地域活性化①）

～尾道松江線に併設された道の駅等を通じて地域活性化に貢献～

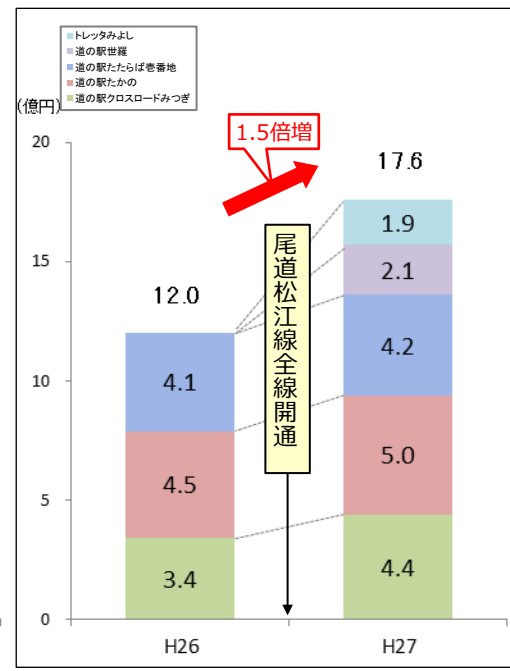
- ・尾道松江線沿線の「道の駅」等は、全線開通とともに来場者（前年度の約1.6倍）、売上高（前年度の約1.5倍）ともに増加しています。
- ・道の駅「たかの」では、**駅を窓口**に地元の農産品生産者が**楽しみながら農業活動**を行っています。



来場者推移(累積)



売上高推移(累積)



注)H27はH27.4.1～H28.1.31の集計

高野大根の生産者の声



・尾道松江線整備に伴い道の駅「たかの」もでき、規格外産品を小分けにして、尾道松江線を利用して来場される沢山のお客様に駅で提供できるようになり、また、価格を自由に提案でき、**新たな楽しみも生まれて**、生産者としても喜んでます。
 (庄原市高野町 高野大根生産者 男性 60代)

2. 事業概要

中国横断自動車道尾道松江線(通称:中国やまなみ街道)の全線開通(平成27年3月)により、山陽と山陰の主要都市間の移動時間が大幅に短縮されました。

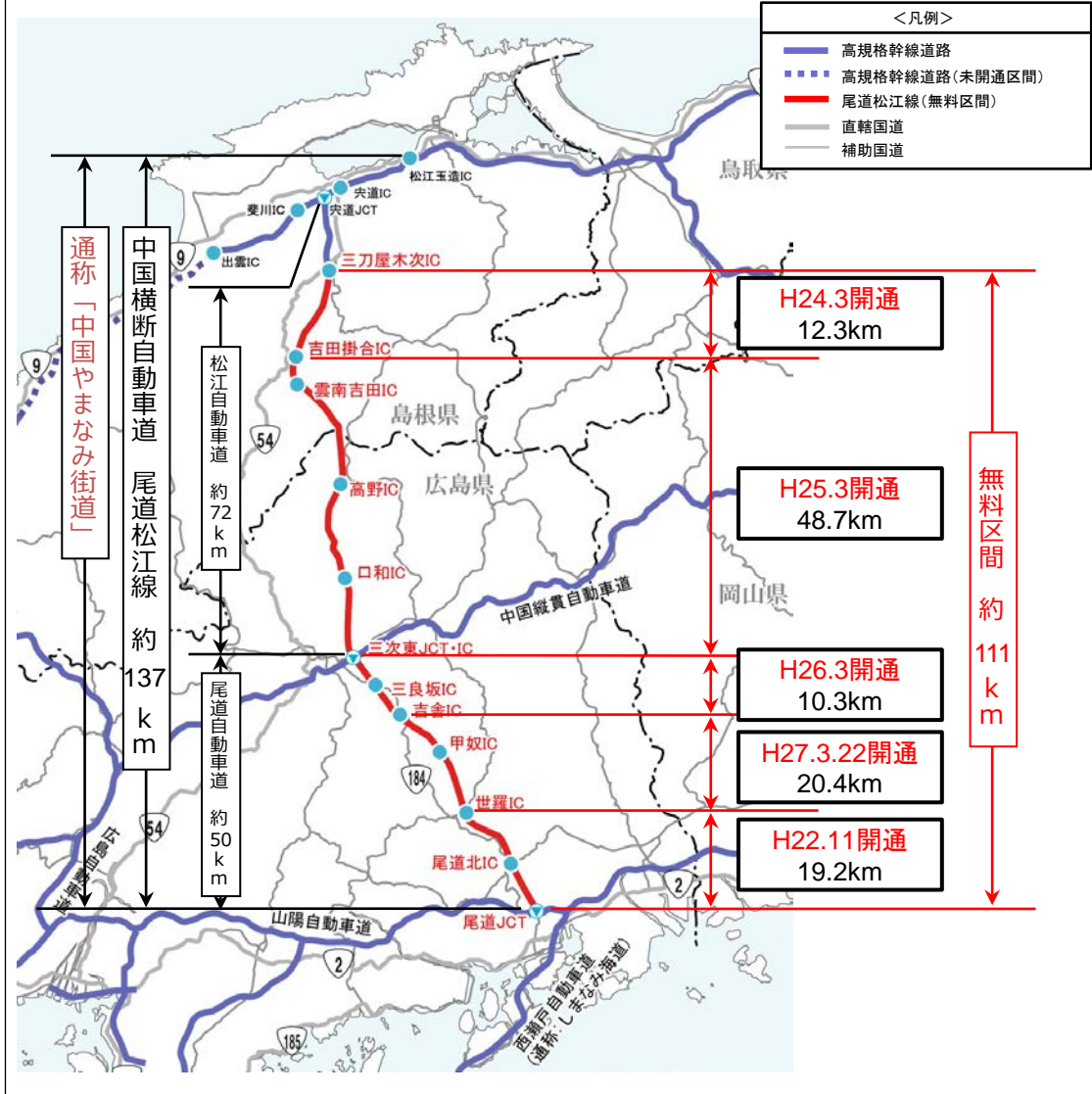
事業概要

	中国横断自動車道 尾道松江線 (無料区間)
起 終 点	起点：広島県尾道市美ノ郷町三成 終点：島根県雲南市三刀屋町三刀屋
計画延長	無料区間 約111km
道路規格	第1種第3級
設計速度	80km/h



※時間から見た主要都市の位置及び地形は、三次市～広島市間を基準とした場合のイメージ的なものです。
 ※図中の数値は三次市から各主要都市への所要時間です。尾道松江線は時速70km,その他の他はH17センサスの混雑時速度

概要図

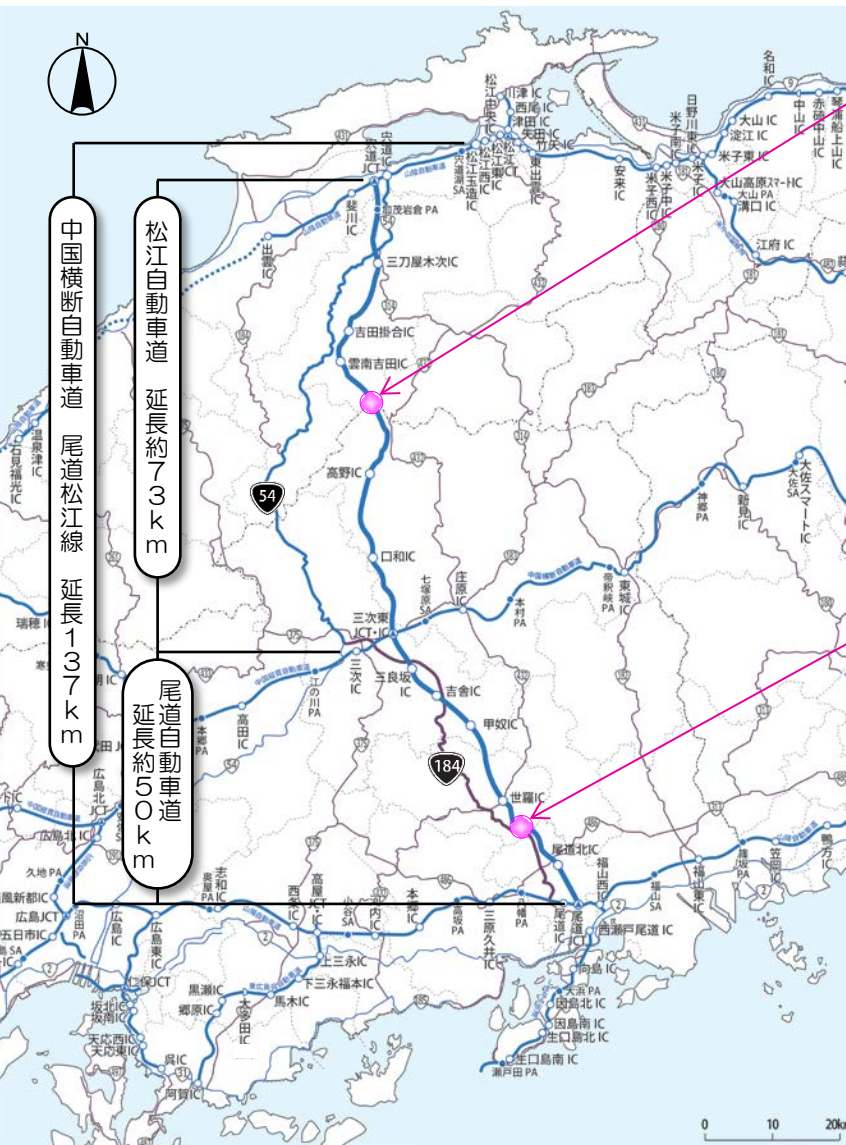


※尾道松江線の無料区間には尾道JCT～尾道北IC間の有料区間(L=0.9km)が含まれます。

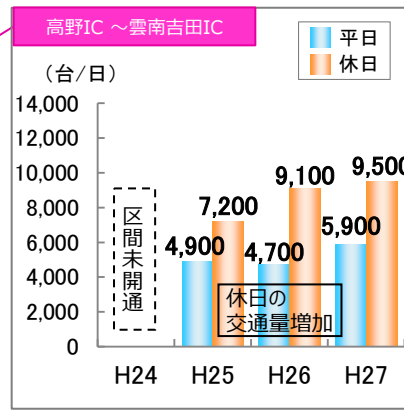
3. 交通量の推移

～尾道松江線本線の交通量推移～

- ・尾道松江線の本線部は平日5,900～8,400台/日、休日9,500～13,100台/日の利用交通があります。
- ・松江自動車道が全線開通(H25.3)後の平成25年度と比べ、平日、休日とも**増加傾向**にあります。



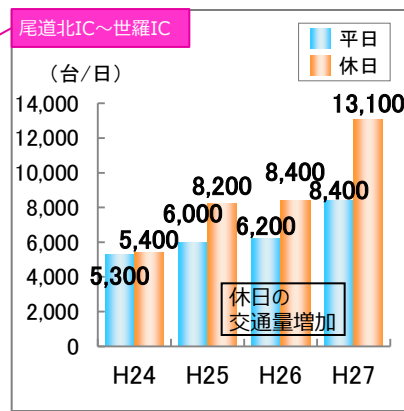
▼松江自動車道（高野IC～雲南吉田IC）



	交通量(台/日)					H27/H25 伸び率
	H24 (10.24(水))	H25 (10.2(水))	H26 (10.1(水))	H27 (10.6(火))	H27/H25 伸び率	
平日	—	4,900	4,700	5,900	1.20	
休日	—	7,200	9,100	9,500	1.32	

注)「-」(グレー着色)は交通量観測時未開通

▼尾道自動車道（尾道北IC～世羅IC）



	交通量(台/日)					H27/H25 伸び率
	H24 (10.28(日))	H25 (9.29(日))	H26 (10.19(日))	H27 (10.4(日))	H27/H25 伸び率	
平日	5,300	6,000	6,200	8,400	1.40	
休日	5,400	8,200	8,400	13,100	1.60	

▲尾道松江線主要断面の交通量推移

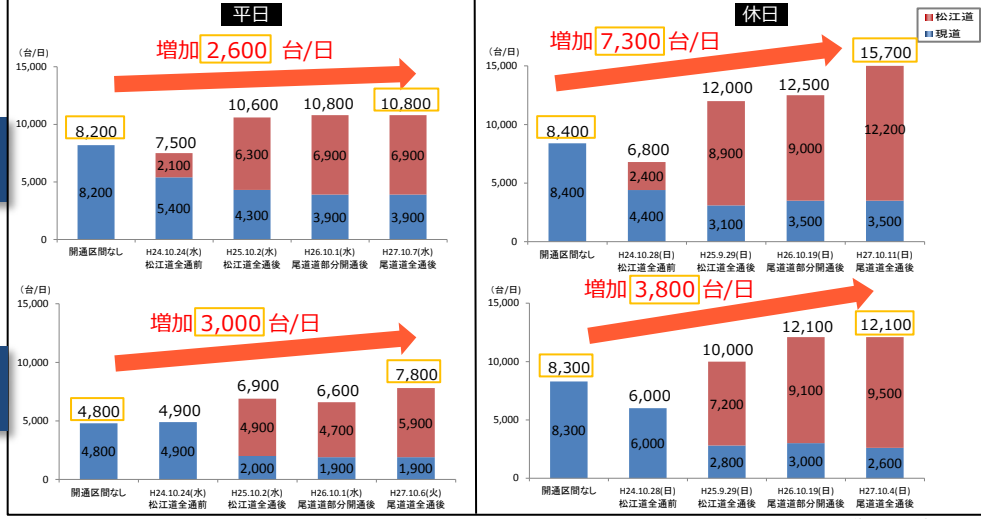
3. 交通量の推移

～断面交通量の推移～

- ・尾道松江線と並行する国道を合計した断面交通量は、整備前に比べ増加傾向にあり、地域の交流が促進されています。
- ・特に休日交通量の伸びが大きくなっています。



▼松江自動車道と国道54号の断面



▼尾道自動車道と国道184号の断面

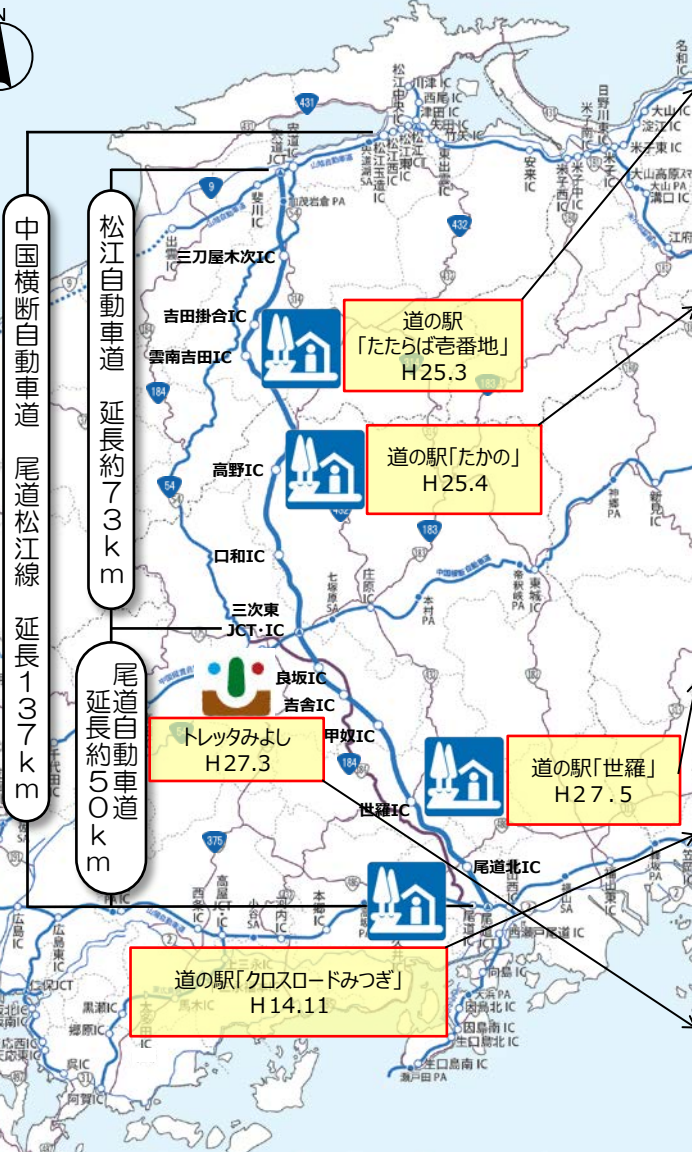


▲尾道松江線と現道の主要断面の交通量推移

【参考】尾道松江線沿線道の駅等の関係者の声

～尾道松江線に併設された道の駅等が地域の窓口として機能～

・沿線道の駅は、地域を案内する玄関口として、また地元生産物の販売拠点として機能し、沿線地域の活性化に貢献しています。



道の駅「たたらば壱番地」による地域活性化の努力

- ・当道の駅は、尾道松江線に近接し、雲南市の南の玄関口として、地元の農産品を活用したオリジナル品の開発・販売により、**地域の観光案内の拠点としてにぎわっています。**

(道の駅 駅長)



道の駅「たかの」への生産者の声

- ・尾道松江線の全通とともに、**特産リンゴの問い合わせが四国方面などからもあり、知名度が広域化しているのを実感しています。**
- ・今後は、道の駅に立ち寄っているお客様を一層地元地域へ(リンゴ狩りなど)呼び寄せるための方策について道の駅さんと連携・協議していきたい。

(庄原市高野果樹園芸組合 組合長)



- ・道の駅ができたことで、規格外産品を小分けにして、駅で提供できるようになり、また、値段を生産者が決められ、**新たな楽しみが生まれて**、生産者としても喜んでいきます。

(庄原市高野町 高野大根生産者 男性 60代)



道の駅「世羅」の位置付け

- ・当道の駅は、尾道松江線を経由した広域の来客者に対して、地元世羅町の「**情報発信拠点**」としての役割を担い、**地域の活性化に貢献**しています。

(道の駅 運営者(観光協会))



道の駅「クロスロードみつぎ」の役割

- ・当道の駅は、**地域交流及び地域活性化の拠点施設**(コンパクトシティ,6次産業化,地域創生)の目的地になるような施設と位置付けています。
- ・尾道市の北の玄関口として、**尾道松江線開通により山陰方面からの来場者、観光バスの立ち寄りが増加**しています。

(道の駅 駅長)



新拠点「トレッタみよし」の将来展望

- ・新拠点としての「トレッタみよし」は、尾道松江線の開通により、今後一層**多方面からの来客増加が見込まれる**ことから、三次市全域を対象として、農産物の生産振興、6次商品の開発、既存加工品の生産拡大、販路拡大により**農商工業者の支援を目指**します。(広島三次ワイナリー トレッタみよし責任者)

